

大人の私がロボットプログラミングに取り組んでの感想

パソコンの画面でプログラムを組むことで、ロボットが上下左右に動いたり、メロディをかなでたりするのを見たときには、びっくり。大喜びです。このプログラミングの学習が終了したときに、私が得たものは、粘り強くやり抜く気持ち、やったぞという達成感です。

時々、くじけそうになるけれど、あきらめないことを学ぶ良い機会だと思いました。小学生から大人まで楽しめます。

NHK テレビの報道より

先日、NHKで『プログラミング学習』のことを紹介していました。「始めにイベントから選んで・・・」「次は、動きから選んで・・・」全く mbot (エムボット) のプログラミングと同じでした。(文字をうつ操作はありません。用語を選ぶだけです。) この mbot でプログラミング学習は、大丈夫だと確信しました。皆さん、このかわいい目をした mbot さんと遊んでくださいね。



文部科学省が小学校に導入しようとしているプログラミング教育とは

小学校では、以前から IT 教育 (情報活用能力) を普及させようと、1 クラスの人数分のパソコンが設置されましたが、なかなか IT 教育が普及していない状況です。先生方は、多忙で、「パソコンの環境設定」や「教材研究をする時間」が取れません。また、先生方個人の「IT 技能の力量」に任されているからです。

海外では、プログラミング教育が進んでいます。日本では、文部科学省が、IT 教育を普及させるために小中高にプログラミング教育を導入しようとしています。文部科学省は、小中高の子どもたち全員を「プログラミングを作るプログラマー」に育てようとしているわけではありません。プログラミング的思考 (論理的に考える力) を育てることが目標です。

小中高の学校で、プログラミングの学習を終えた後、どうするかが大事なのではないかと、私たちは考えています。学習したプログラミングを自分で工夫して、再度取り組むのか、文字をうったり計算したりするワードやエクセル、パワーポイントを学ぶのか、電子メールやパソコン基礎を学ぶのか いずれにせよ IT 教育が必要とされているのです。

当教室では、年齢や IT 技能に合わせて教材をご用意しております。お気軽にご相談くださいませ。(下線は、小学校プログラミング教育の手引より抜粋)